理由書

本理由書は、都市計画法第17条第1項の規定に基づき、川口都市計画特別緑地保全地区の決定(川口市：西新宿宿松山特別緑地保全地区)についての理由を示したものです。

I. 本計画地区の位置づけ

本市は総合計画におけるめざす姿として、「都市と自然が調和した人と環境にやさしいまち」を掲げており、市の緑化施策の基本を定めている「第2次川口市緑の基本計画」においては、安行台地の植木畑・樹林地や見沼田圃及びその周辺の斜面林等の自然環境の保全・活用を図ることとしております。

本市では、この施策を実現するために、無秩序な市街化を防止し、動植物の生息地となる緑地の保全・創出に取り組み、自然と調和する水と緑豊かなまちづくりを進めており、水と緑のネットワーク化をはかるとともに、「川口市緑のまちづくり推進条例」に基づく「保全緑地」を指定し、市域に残された貴重な緑地の保全に努めています。

本計画の「西新宿宿松山特別緑地保全地区」は、平成25年4月1日に当市条例における保全すべき緑地として指定した西新宿宿松山保全緑地及び同緑地に隣接している山林であり、「川口市緑の基本計画」において、市域の北部に位置し、既存の緑地や水辺を保全する「緑の保全エリア」に位置づけられております。

また、首都圏近郊緑地保全法による安行近郊緑地保全区域及び埼玉県立自然公園条例による埼玉県立安行武南自然公園区域に指定されております。

II. 本計画地区の現況説明

シラカシ、コナラ、クヌギ等の雑木やモウソウチクで形成された山林です。猛禽類等の鳥類や昆虫類の生息が確認されております。

近隣に担保性の高い緑地である、川口市立グリーンセンター及び赤山自然歴史公園(イイナパーク川口)があります。

Ⅲ. 決定内容

都市緑地法第12条第1項の規定に基づく特別緑地保全地区として、以下の通り都市計画決定を行います。

名 称	面 積
西新井宿松山特別緑地保全地区	約 0.39 h a

Ⅳ. 決定理由

特別緑地保全地区とは、都市における良好な自然的環境となる緑地において、建築行為など一定の行為の制限などにより現状凍結的に保全する制度です。指定により豊かな緑を将来に継承することが可能となります。

前述のとおり、本計画の「西新井宿松山特別緑地保全地区」は、近隣に担保性の高い緑地である、川口市立グリーンセンター及び赤山自然歴史公園（イイナパーク川口）が存在します。特別緑地保全地区指定により緑地機能を恒久的に維持することで、3つの緑地が連続することによるネットワーク形成の相乗効果が期待され、エコロジカルネットワークの拠点としての役割を果たすと考えます。また、恒久的に緑地機能の保全を行うことは、動植物を保護することに繋がり、生物多様性の確保に資すると考えます。

以上の理由から、緑地機能を恒久的に維持することで、本市の良好な環境形成・生物多様性の確保に資するため、Ⅲ. 決定内容のとおり都市計画決定を行うものです。